

柏崎市鯨波産業団地整備事業の進捗状況について

産業振興部ものづくり振興課

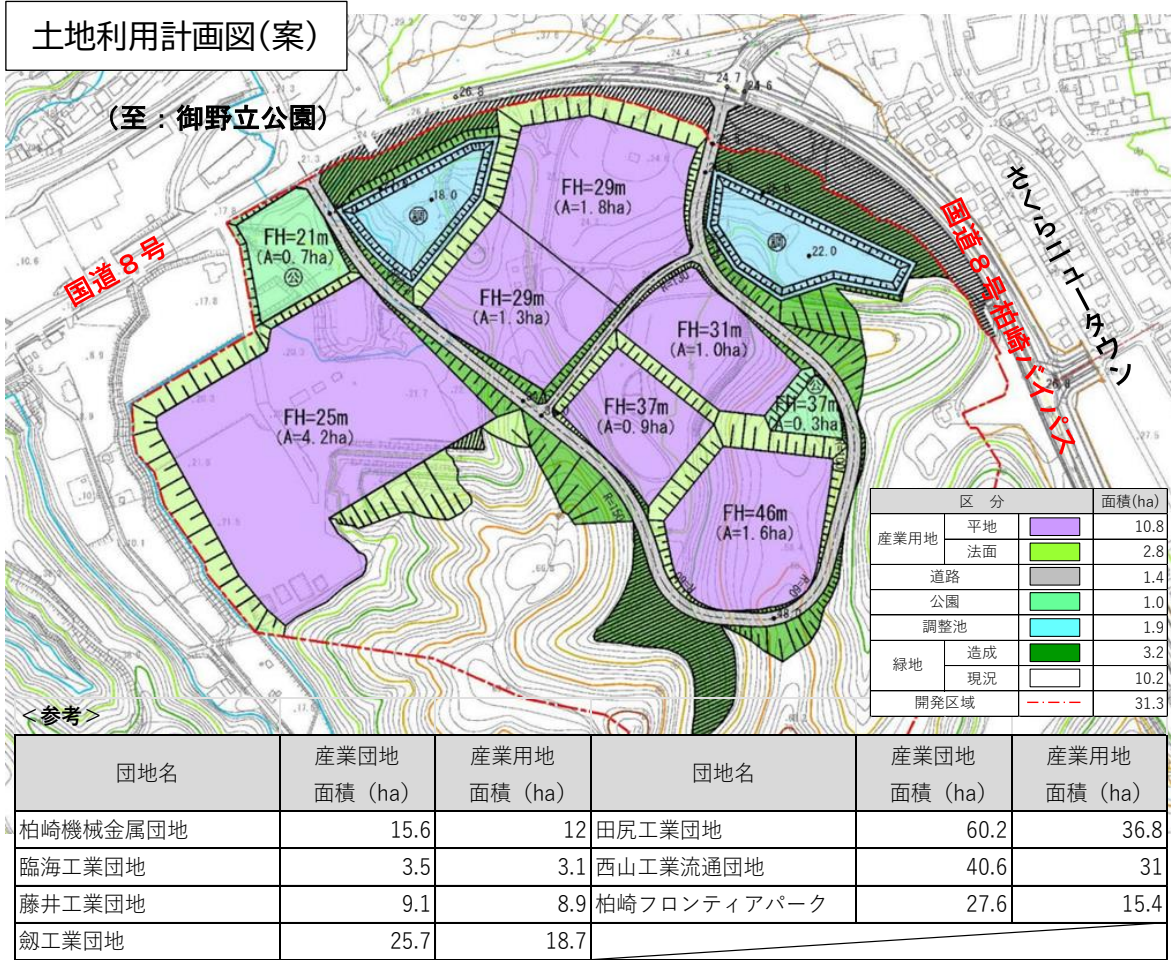
1 事業に至る背景

- ・ 令和 3 (2021) 年フロンティアパークの完売で市保有の産業用地が枯渇
- ・ 全国的な産業用地不足、産業用地開発の需要増
- ・ 立地計画を持つ事業者の割合は、製造業、物流業ともに増加傾向

2 基本構想の概要

- ・ 事業名称：産業団地整備事業
- ・ 団地面積：31.3ha（産業用地面積：約 13.6ha（平地 10.8ha））
- ・ 総事業費（概算）：約 60 億円　うち、工事費（概算）：43 億円
- ・ 整備目的：地域経済の発展、職業選択の幅の拡大や雇用の場を創出する
- ・ 土地利用計画図（案）

（令和 6 (2024) 年度策定　柏崎市鯨波産業団地整備基本構想より）



3 基本構想に基づく基本設計等の策定

基本構想で示した方向性を更に具体化した基本計画とするため、開発区域の範囲決定など土地利用方針や配置計画を明確化し、実施設計や施工に円滑に移行できるようにする。

(1)基本設計（計画）の方向性

- ・ 地域産業との連携強化や環境エネルギー分野などの新産業の創出を見据え、電気料金の補助制度や豊富な上水道といった利点を活かせる産業団地とする
- ・ 立地する事業者がカーボンニュートラルの実現を可能とするエネルギーインフラの整備方針の決定

(2)基本設計（計画）の策定の工程

■基本設計策定業務委託他、各種調査・測量委託業務等の実施

鯨波産業団地整備基本設計（計画）の概要

【決定する内容】

- ・ 開発区域範囲
- ・ 土地利用方針・配置計画
 - ⇒ 道路、排水、調整池等を含む整地・防災設計等
 - ⇒ 国道と接続する交差点の形状設計
 - ⇒ 地質調査・地形測量、交通量調査等の結果とりまとめ
- ・ 上水道基本設計
 - ⇒ 給水計画（計画水量・送配水計画等）
- ・ エネルギーインフラの整備方針
- ・ 発注方法等
- ・ 概算工事費

令和8（2026）年7月末 基本設計の策定完了（予定）



■その他、策定作業から造成工事完了までの主な工程

- ・ 調査・測量等の委託業務
- ・ 関係地権者等への説明、事業に関する個別対応、協力依頼
- ・ 関係機関との協議
- ・ 用地取得に向けた、不動産鑑定（完了）、物件調査（実施中）、用地測量、用地交渉、用地取得

(3)インフラの整備

水 道・・・川内浄水場から配水管を新設し、団地内へ安定的に上水を供給する予定。団地内には配水設備を整備し各区画に供給予定。

電 気・・・近隣変電所から東北電力ネットワークの系統線を新設し、団地内の各区画へ供給予定。進出企業のオーダーに応じて脱炭素電力を供給する想定。

ガ ス・・・近傍のガス中圧管を団地内に引き込み、団地整圧室で低圧ガスに減圧し各区画へ供給予定。進出企業のオーダーに応じてカーボンニュートラルガスを供給する想定。

通 信・・・近傍の供給ケーブルから引き込み予定。団地内の各区画まで事前に光配管を敷設するか、需要家決定後に個別対応とするかについては検討中。

4 委託業務等の状況及び関係者説明

(1)委託業務等

- ・基本設計等策定業務、地形測量等、各種委託業務を発注
- ・国、県、庁内関係部署との協議等の実施

(2)地権者及び関係団体への説明

対 象	開催日	参加者数
【地権者】52名（うち事業者6社）	R7（2025）.4.28	15世帯17名
【鯨波地区】3町内会長他	R7（2025）.4.24	27名
【大洲地区】20町内会長他	R7（2025）.5.28	28名
【剣野地区】6町内会長他	R7（2025）.6.5	6名
【柏崎商工会議所一般工業部会】	R7（2025）.8.27	37名
【柏崎商工会議所機械金属工業部会】	R7（2025）.9.19	（実施予定）

5 全体スケジュール

年 度	項 目
令和 7(2025)年度	基本設計、フィールド調査等
令和 8(2026)年度	用地測量、基本設計策定完了、発注方法の決定等
令和 9(2027)年度	用地買収、事業者の決定、実施設計、許可申請手続き等
令和 10(2028)年度	造成工事開始
}	}
令和 12(2030)年度	造成工事完了、分譲開始

※工期短縮を図るため、実施設計と工事の一括発注（DB方式）を想定した最短スケジュールを示したもの。

※基本設計を策定した後、順次企業への営業を進めていく考え。